



持留小学校で「更ちゃんの会」の 読み聞かせを開催

3月17日(火)、持留小学校にて、「更ちゃんの会」の読み聞かせが開催されました。毎月、更生保護女性会が子どもたちに本の読み聞かせをおこなっていますが、今回は柳原依都さん(持留小3年)の南日本新聞社賞受賞作品「ゴーヤから聞こえる声」の作文を発表していただきました。

子どもたちから、日頃の読み聞かせのお礼にお手紙と手作りの花束がプレゼントされ、更生保護女性会からも、ノートと鉛筆がプレゼントされました。



荒佐春祭り

3月8日(日)、照日神社境内において「荒佐春祭り」が開催されました。

舞台では神舞保存会による神舞の披露や、野方小学校児童による棒踊り、カラオケなどが披露され、祭りを盛り上げました。

また、同会場では剣道大会も開催され、町内外から参加した剣士らは、普段とは違うなれない地面での試合で、白熱した戦いを繰り広げていました。



倒木被害未然防止の事前伐採に関する 協定締結式

3月17日(火)、九州電力送配電鹿屋配電事業所と町は、倒木による被害を未然に防止するための事前伐採に関する協定」を締結し、調印式がおこなわれました。

同協定は、近年発生が増加している台風や大雨に伴う倒木によって、停電や交通に支障をきたす懸念のある場所を事前に協議し、伐採などをおこなうもので、今後は、特に被害が懸念されるエリアを選定し、順次伐採作業を進めていく予定です。



トラック協会が寄贈！

3月17日(火)、公益社団法人鹿児島県トラック協会の皆さんから、子どもたちの安全に対する意識の高揚を図ることを目的として、新たに小学校へ入学する児童を対象に、交通標識が描かれた筆記用具などの交通安全教材が贈呈されました。これは、同法人が交通事故防止の啓発活動として、県内小学校の新入学児童を対象に昭和62年から毎年贈呈されているものです。